参考様式第２号

整理番号 1-1～4

調査研究活動記録票

会派名 政愛会

活動名	神奈川県大和市 シリウス視察 北海道上富良野町ピールーモ 千代田区立スポーツセンターにて「里親市町村交流」について	使途項目	調査研究費
日程	令和 1 年 11 月 30 日 (土) ～ 令和 1 年 12 月 1 日 (日)		
場所等	① 神奈川県大和市 シリウス 中央林間図書館 ② 千代田区立スポーツセンター		
参加議員人数・氏名	1 人	助田要三	
目的・内容・成果	目的 ① 図書館を中心とした複合施設で市民の憩いの場としての機能を視察し、里親市へ複合施設作りの参考とする。 ② 里親市と千代田区との市民交流の現状と、今後のあり方を検討する。		
	内容 ① だれでも気軽に立ち寄ることのできる居場所となることを目指して、2018年に開館。1Fは、開放感で、ゆったりと読書ができる空間で、160席を備えている。飲食持ち込み可、会話も可能。 2Fは、学習室で、壁に囲まれた空間で、周囲のさわがしさから離れた場所になっており、落ち着いて過ごせる。 3Fは、フリースペースで、のんびり過ごせる、広いリラックス空間となっている。 ② 小・中学生の交流が中心で、大勢の人の子供が大自然の中で宿泊することで、おのずと体得することも多く、自主性の育成にもなっている。今後も続けていきたい交流であり、将来大人になって、この経験が人生の1スポットとして、生きてくることもあると思われる。		
	成果 ① 商業施設と図書館の境をなくし、開放的な空間となっており、読書・学習はもちろん、運動・通学や買い物の際に立ち寄り、楽しい思いのひとときを過ごせる場である。 Free-Wifi環境設備も整っており、自由にインターネットを楽しめる。 館内で利用できるiPadは、インターネットはもちろん、電子書籍や各種データベースも利用できる。又、隣接する珈琲店では、貸出手続きをして、図書館の本を読める。 まさに地域の市民の憩いの場であり、里親市も、大いに参考とすべきである。 ② 若い時期に異なる生活、社会環境を体験することは、大人になって、何倍にも大きくなって、生きてくるものである。最終ときの交流は継続していくべきである。		

参考様式第２号

経費内訳

単位：円

整理番号	月日	支出内容	金額
1-1	R1.11.30～12.1	宿泊代	12,630
1-3	R1.12.1	昼食代	726
1-2	R1.11.30	電車代（横浜駅～大和市、往復）（JR橋駅～程塚）	700
1-4	R1.11.30～R1.12.1	JR切符代	18,330
	合計		32,386

参考様式第２号

整理番号 2-1～5

調査研究活動記録票

会派名 政要会

活動名	「市町村財政分析基礎講座」受講	使途項目	研修費
日程	令和２年１月16日（木）～ 令和２年１月17日（金）		
場所等	栃木郡壬生町町民会館（ミネルRISURUホール）		
参加議員人数・氏名	１人	助田要三	
目的・内容・成果	目的	県内市の財政を研究すること。 ・リーマンショック後、市町合併等、H25年度、H30年度の決算状況による流れの把握。 ・類似団体（鹿沼、栃木、那須烏山）との比較 ・ハード→ソフトへの移行の決算状況と今後の項目別推移の追跡、把握。	
	内容	・決算カード（総務省版）（H28～29年度財政状況資料集） ・平成29年度「類似団体比較カード」県内市のもの総務省版 ・「平成30年度財政健全化法」に基き報告・ネットで決算に配布された資料及び総務省に提出した総括表①～⑭ ・平成27～29年度決算統計（地方財政状況調査表）の「地方債現在高の状況」 ・地方交付税算定台帳　・テキスト「習うより慣れる市町村財政分析」	
	成果	以上を使って、実践形式の研修（２日間）。 各種財政指標に基く、財政健全化の度合、地方交付税の入れ方、保証債務費の予算の使い方、類似団体（類似市町）との比較、過去から現在までの流れ　等々、実践形式（実際に書き込み、自分の市の分析）が多分分かるようになった。 今後、研究部、研究員（武蔵大学、講師）の個人指導を受け、当市財政構造にも協力を得て、もっと調査・研究を進めていきたい。	

参考様式第２号

経費内訳　　単位：円

整理番号	月日	支出内容	金額
2-2	R2.1.17	講座受講料	21,000
2-3	R2.1.17	研究部会費	12,000
2-5	R2.1.16～17	自治研究部への往復電車代、ホテル代（YKKツーリスト）	29,630
2-1		テキスト「習うより慣れる市町村財政分析」	2,780
2-4	R2.1.16～17	タクシー代	1,480
	合計		66,860 ~~65,380~~

参考様式第２号　　整理番号 3-1～2

調査研究活動記録票

会派名＿＿＿＿＿＿

活動名	①県選出国会議員への陳情（国交省・財務省・農水省・外務省） ②超高齢社会のまちづくり展	使途項目	調査研究費
日程	令和２年２月12日（水）～ 令和２年２月13日（木）		
場所等	①．社会会館・霞が関（千代田区） ②．東京ビッグサイト（港区）		
参加議員人数・氏名	１人	助田 要三	
目的・内容・成果	目的 ①陳情（国会議員）、財務・農水・外務省（国交省）の視察。 ②超高齢社会への対応についての視察。		
	内容 ①宮越馬沢代表と秘書との懇談・陳情。（代表とのアポの為）。 鈴木宗男代表との懇談、林幹雄官房副長官、萩生田光一官房副長官との懇談。 国交省：藤田土郎、農水省官房長：横尾英徹；財務省主計局：金指志保。 （元、見附河川事務所所長） （議員）令和２年度、外交関係予算のポイント（ODA予算、外務省予算）、令和２年度税制改正について。 ②介護施設産業展・介護施設リフォーション展が開催されており、世界の介護用品が一同に陳列。 元、東大名誉教授による講演：「各世代による協働、共生を実現させる国内外の地域事例」。		
	成果 ①代表を始め、秘書官、各省の視察官として、親身になって聞き、外務省では難民問題やODA等についての講義をしてくださり、望外の幸せでありました。なんとかこうした陳情は、時期が早い方が良いとのアドバイスもありました。 ②「介護業界最大級」業界プロのための展示会であって介護用品、リハビリ機器から介護ロボットまで、介護現場で役立つ商品を一堂に展示しており、在宅介護事業者、介護・高齢者施設、病院、リハビリ施設関係者等全国との業種者が一度は見てみたい展示会である。 西村学長の講演は、各世代による協働、共生の社会が今こそ重要であり、 礼（高山市、高田市、豊橋（伏木）等々）を例にして、先者男性による協働、共生社会を考え、これを「まちづくり」の側から考えるものであり大いにうなずけることが多かった。		

参考様式第２号

経費内訳　　単位：円

整理番号	月日	支出内容	金額
3-1	R2.2.13	宿泊代	13,000
3-2	R2.2.12	見附市役所関係者と東京の往復電車代	18,330
	合計		31,330-